



# 下和泉小だより

横浜市立下和泉小学校

校長 船木 淳

始業式・入学式から3週間がたちました。昨年着任した私は、明るく元気よくのびのびした子どもたちの様子にちょっとした驚きを感じましたが、その感覚は今も変わりません。登校後すぐに校庭に出て遊ぶ姿、休み時間には異学年が混在して大勢で楽しむ姿、下和泉小では日常の景色ですが、他校ではなかなか見られない光景です。この、当たり前ではない当たりの光景を、いつまでも大切にできる学校でありたいと思います。

新年度は、誰にとっても緊張感のあるものです。私たち教職員もそうですが、何より子どもたちは大きなストレスを抱え、それを少しずつ乗り越えながら今日を迎えています。思春期を迎えつつある高学年の子は学年やクラスの中での自分の立ち位置を探りながら、友達との距離感を測り、それでも思うようにいかず、一人で悩んでいるかもしれません。学校でも多くの目で子どもたちを見取り、小さな変化に気を付けていきたいと考えています。保護者の皆様も、お子さんを見守る中で気になることがあれば、遠慮なく学級担任や児童支援専任にご相談ください。

明日からは大型連休が始まります。ここまでがんばった疲れを取り（私達の想像以上に子どもたちは疲れています！）、家族で過ごすことで心身ともにリフレッシュし（子どもたちには家族が一番です！）、連休明けから気持ち新たに活動するためのエネルギーを（5月末には運動会が予定されています！）蓄えてほしいです。

## 1年生も学校生活に慣れてきました



初めての給食

初めての給食にドキドキワクワクの1年生。全校の給食開始に合わせて、1年生も4月13日から給食を食べています。当番の児童は白衣を着て並び、給食室まで食管や食器を取りに行きました。職員室前を通る時にもしっかりと無言を貫き、静かに、丁寧に運ぶことができました。配膳を待つ様子も立派！

コロナ禍で給食も「黙食」することが求められています。3年生以下の子どもたちは楽しい会食の時間を知らないまま過ごしてきました。グループで机を合わせて笑顔で給食を食べる日が来るのが待ち遠しいです。



学校探検

校長室に突然の来客がありました。1年生を連れてきた6年生。学校探検に行こうとしていた1年生を見つけ、6年生が案内役をかって出たようです。6年生は1年生の教室に行って様々なサポートをしていますが、偶然の中から生まれた素敵な活動でした。案内されている1年生もうれしそうですが、何よりも6年生の表情が柔らかくて温かく、自己肯定感にあふれていました。